

計 装

コミュニケーション

第51号
2022年8月



計装士会発行

目次

第25回通常総会

通常総会

次第	1
令和3年度 事業報告	2
令和3年度 収支決算書	3
令和4年度 事業計画並びに収支予算（案）	4
代表挨拶	5

コラム

レコードと昭和の原風景	（太平電業株式会社 松本浩）	6
-------------	----------------	---

事務局よりお知らせ

2022年「オンライン勉強会」のご案内	9
---------------------	---

企業紹介・PRコーナー	10
安全標語	12
賛助会員名簿	13
幹事名簿	14
入会資格と入会・退会手続きについて	15
計装士会ホームページのお知らせ	16
投稿募集	17

第25回通常総会

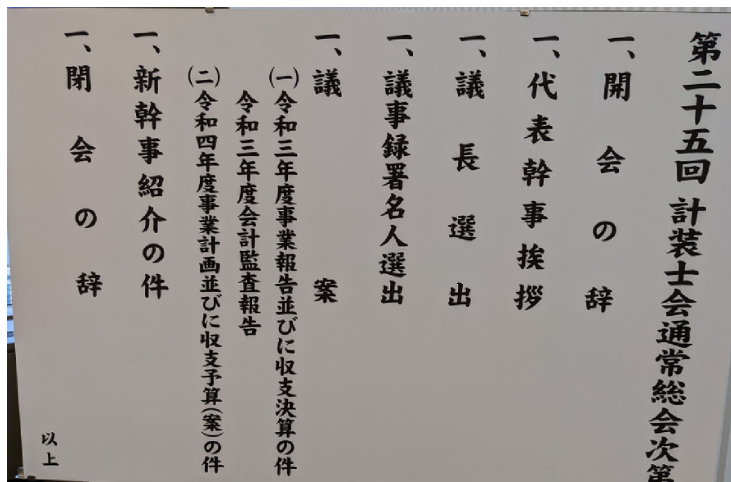


総会風景

第25回通常総会は、令和4年4月27日（水）東京・霞が関の霞ヶ関コモンゲート西館 霞山会館ビルにおいて開催されました。

新型コロナウイルス感染症防止の為、3密（密閉、密集、密接）を避け規模を縮小しての開催となりました。

以下の次第により議案の審議を行い、すべて承認されました。



通常総会次第

令和3年度事業報告

計装士会事業活動としまして、今年度は新型コロナウイルス感染症拡大により、会員皆様の安全・安心を第一優先としまして講演会・勉強会・見学会の全ての活動は中止と致しました。

会報・ホームページの内容につきましては諸活動を中止としました事もあり、掲載する記事も少なくなりますが、次年度こそはコロナ禍の収束を願い、会員の知識と技術向上に向けた活動が実施できますことを期待しております。

現在会員登録者は2,235名、内新規入会者は61名を得ることができました。

また、会活動の財政基盤の充実と活動の安定を図るため、各企業に賛助会員の継続および新規加入をお願いし、会の趣旨をご理解頂き、43社より賛助を得ることができました。

以下に今期実施した事業内容をご報告致します。

主事業内容

1. 幹事会及び委員長会を開催しました。
 - ・幹事会4回の開催、及び委員長会6回の開催（内書面による開催2回）
2. 会報「計装コミュニケーション」49号（2,600部）、50号（3,300部）の発行および一般社団法人日本計装工業会発行機関誌「計装技術」（各会員へ4冊/年）を配布しました。
3. 技術維持講習会場における入会勧誘および会員増強に向けたPR活動を行いました。

2020年度収支決算書

令和3年4月1日より令和4年3月31日まで

I. 収入の部

(単位：円)

事業項目	予算額	決算額	差異 (△は収入超過)	備考
会費 (2,200名 × 3,000円)	6,600,000	6,161,000	439,000	93.35%
賛助会費 (60,000 × 63.0口)	3,780,000	3,810,000	△30,000	・3千円：2054名 ・賛助会費・03月まで (63.5口* ¥60,000)
雑収入	0	42	△42	
会費令和3年度前受金 (令和4年度以降分)	0	105,000	△105,000	
前年度繰越金*2	8,971,395	8,971,395	0	
合計(A)	19,351,395	19,047,437	303,958	98.4%

II. 支出の部

(単位：円)

事業項目	予算額	決算額	差異 (△は支出超過)	備考
広報活動費	100,000	15,255	84,745	15.26%
会報・技術資料発行費	1,500,000	979,070	520,930	65.27%
交流・研修・見学会費	3,000,000	0	3,000,000	0.00%
ホームページ運用費	200,000	294,030	△94,030	147.02%
会議費	680,000	286,876	393,124	42.19%
通常総会費	540,000	410,649	129,351	76.05%
一般管理費	6,654,000	7,061,530	△407,530	106.12%
(人件費・交通費)	(5,434,000)	(5,667,350)		
(什器備品)	(620,000)	(568,737)		
(通信運搬費)	(400,000)	(222,995)		
(雑費)	(200,000)	(602,448)		
予備費			0	
合計(B)	12,674,000	9,047,410	3,626,590	71.4%
次期繰越収支差額(C)=(A)-(B)	6,677,395	10,000,027	△3,322,632	
支出合計	19,351,395	19,047,437	303,958	

監査報告書

令和3年度予算にかかわる決算の結果について、監査を実施したところ収支決算書に示す通り正確であることを認めます。

令和4年 4月15日

監査 大刺学 
 別府明敏 

令和4年度事業計画並びに収支予算（案）

1. 基本方針

- (1) 全国各地区における会活動の展開
- (2) 会員相互の技術交流と知識向上に向けた活動
- (3) 計装工事の技術伝承活動
- (4) 会報並びに各種技術情報の提供
- (5) 計装士の地位向上に向けた広報活動

2. 事業計画

- (1) コロナ禍において講演会・見学会・勉強会を全国7地区で開催することが出来ず、今年度はオンライン勉強会の開催を計画している。また一般社団法人日本計装工業会及び他協会、学会との連携による共催にも努める。
- (2) 一般社団法人日本計装工業会及び賛助会員企業との連携強化により地区活動をさらに活性化させる。
- (3) 本会の趣旨活動内容を広報し、会員の増加と賛助会員の拡充を図り、財政基盤の確立に努める。
- (4) 会報「計装コミュニケーション」を年2回発行し、一般社団法人日本計装工業会発行「計装技術」（年4冊）とともに会員へ配布する。
- (5) 「計装士会ホームページ」のリニューアルを行い、会員への技術・知識に関する情報提供を促進する。
- (6) 計装技術の重要性を一般社団法人日本計装工業会との連携により広報し、計装士の社会的地位向上に努める。

これらの活動を通して「社会に応える計装士」の育成に向けて会員の技術・知識向上と人的交流を目指した活動を充実・発展させてまいります。

令和4年度収支予算（案）

[収入の部]		(単位：円)	[支出の部]		(単位：円)
会費	6,162,000		広報活動費	100,000	
(2,250名×3,000円)			会報・資料発行費	1,750,000	
			交流・研修・見学会費	3,710,000	
			ホームページ運用費	2,000,000	
			会議費	419,000	
			通常総会費	700,000	
賛助会費 43社	3,780,000		一般管理費	6,866,000	
(63口×60,000円)			(人件費・交通費)	(4,550,000)	
			(什器備品及事務用品等)	(1,716,000)	
			(通信運搬費)	(400,000)	
			(雑費)	(200,000)	
前年度繰越金	10,000,027		予備費	4,397,027	
合計	19,942,027		合計	19,942,027	



代 表 挨拶

計装士会代表幹事

大脇 剛

ただ今ご紹介いただきました、代表幹事を務めさせて頂いております大脇と申します。本日はご多忙中にも関わらず、皆様にはご出席を頂きまして厚くお礼申し上げます。

最近の新型コロナの状況は、3月初旬の第6波の最盛期は過ぎたようですが、東京では減少傾向になりつつも地方では増加の県もあるようで高止まりの状況かと思えます。今後の動きも定かでは有りませんが、飲み薬等も治験が進み服用できるようになってくるようで、今後インフルエンザの様な扱いに移行するのでは、と期待しているところです。

当総会におきましては、一昨年・昨年とこの新型コロナの影響で規模を縮小して開催させて頂きましたが、先ほど申し上げた通り、今回（2021年度）も同様に規模を縮小し、マスクの着用はもとより、3密（密閉・密集・密接）を避けた形で開催させて頂きまことを先ずはご了承頂きたいと思えます。

さて、新型コロナによって2019年度の総会を2020年の7月に変更して縮小の形で行い、2020年度はワクチン接種が進むことを期待し、計画立案の上、諸行事の実施を試みましたが、新型コロナ拡散状況から諸行事の実施断念に至り、総会においても縮小して実施の経緯となったところであります。

2021年度においても同様の経過をたどり、社会状況から諸行事のリアル実施が困難となりました。

上記の状況下でオンラインによる勉強会等を急遽計画する方向で進めようとしたことが、当会の発足時からのホームページ及びZoom等の通信環境が、現状に即していないことも判明したことから、通信環境の整備から必要となりました。そうしたことから、2021年度内に実施しようと計画したオンライン講習会が、2022年度にずれ込む結果となり、結果として、後で報告されますが2021年度の活動としては広報活動や会報発行などに留まったことを、先ずはお詫びしたいと思います。2022年度の計画としては、これを踏まえまして通信環境の整備を盛り込みさせてもらいましたのでご承知おき願います。

そうした中ではありますが、2022年度におきましては冒頭に申した通り、マスク着用・ソーシャルディスタンス・手洗いうがいの励行のもとにウイズコロナの方針で、社会活動が活性化することと思われまますので、リアルな勉強会及び職場見学等を計画して、活発な活動を推進していきたいと思えます。

計装士会におきましては、平成9年3月設立からちょうど四半世紀（25年）となりました。この間、計装士の地位向上を目指し、「建設業法施行規則」に国の制度に明確に組み込まれるなど、活躍の場が広がってきています。

今後についても、今後の“新型コロナ”の動向を見極めつつ、一般社団法人日本計装工業会様及び賛助会員企業様との連携により、会活動の活性化・会員の技術向上に努めてまいりたいと思えますので引き続きご支援、ご協力をお願いします。

会員の皆様・賛助会員等関係者様のご健勝を祈念するとともに、2022年度は諸活動が滞りなく実施できる状況となることを願い、私の挨拶と致します。

レコードと昭和の原風景

太平電業株式会社

松本 浩

レコードの話です。

昭和38年（1963年）、テレビアニメの鉄腕アトムに未来の夢を馳せ、銀幕ではアラビアのローレンスでピーターオトゥールとアラブの文化に魅了され、初の衛星中継でケネディ大統領の暗殺が報道された年、私は福島県双葉郡楡葉町に生まれました。

駅裏の8畳3部屋の家で、祖父母と両親、父方の叔父叔母が3人、私と弟の9人での暮らしです。

お風呂、トイレ、釜屋（台所）は外にあり、雨の日は釜屋で料理した食事を、濡れないよう小走りで母屋の食卓に運びます。

その母屋は屋根からの雨漏りで、賑やかな洗面器の雨音演奏を奏でていました。

親戚が多く、毎年お盆に叔父叔母が家族を伴って里帰りすると、総勢20人ぐらいが狭い家に泊まります。

毎回、叔父叔母の子供のころの泣き笑いの四方山話で宴は大いに盛り上がり、私といとこ達はそれを楽しく聞いているのが好きでした。

そんな我が家でも、高度成長の時流に乗って、家の様子が少しずつ変わってきました。

まず裸電球が蛍光灯になり、四本足の白黒テレビが茶の間に陣取り、台所には冷蔵庫とガス炊飯器、お風呂場には絞付き機能の洗濯機、続いて電子レンジ、カラーテレビが家に入ってきて、みるみる生活が便利になり、豊かさを実感できるようになりました。

父は、音楽とオーディオが趣味で、自分でベニア板と綿でスピーカーを作ったり、アルミの板の上にトランジスタやコンデンサを組み込んでラジオやアンプを作ったりして、好きな音楽を聴いていました。

1985年、営林署に勤めていた父が、木材を安く手に入れることが出来て家を新築しました。

時が経ち、2011年の震災で我が家は避難を余儀なくされ、私の家族は成田に住み家に移し、両親は2015年に実家に戻り現在に至っています。

少し痴呆になり、孫に何回もお小遣いをあげようとする両親ですが、たまに実家に帰り昔話をすると、戦争と高度成長の昭和を真面目に、強く、逞しく、イキイキと生きて来た人達の話は、私に勇気と元気を与え、あの人たちのように希望をもって生きていき

たいと思わせてくれます。

今年の初めに父から連絡がありました。

断捨離を始め、買い取り業者を家に呼び、古いオーディオの山と相当の数のレコードを処分したそうです。

その時の買取価格が全部で3,000円。

父は売っては見たものの、その晩あまりに安い価格に腹を立て、翌日わざわざ一山越えて買い取り業者から買い戻して来たそうです。

私が帰省した時に、まだそのレコードがあったので見てみると・・・

出てきました懐かしのヒット曲！！

父の趣味からは、伊藤ゆかり、黛ジュン、リライ、北島三郎、山本譲二、さくらと一郎、寺内タケシとブルージーンズ、風・・・

私のコレクションからは、当時大ファンだったアイドル桜田淳子、松田聖子、クイーン、ドナサマー、スージーワトロ、チュールリップ、寺尾聡、アリス、サントラ盤・・・



今、巷はアナログのレコードブーム。

2020年上期に、アメリカでは1980年代からの30～40年間で、初めてレコードがCDの売り上げを上回ったそうです。金額にしてCDの売り上げが約138億円、レコードが246億円です。(アメリカレコード協会)

私は、家にあったEP盤だけを、レコードショップで処分しようと、東京に持ち帰りましたが、処分する気持ちになれずに、未だに部屋の棚の上に置いてあります。

このままもしかすると、再びアナログの温かみに触れたくなくなってプレーヤーを購入し、針を落して、懐かしいあの頃の音楽に包まれ、駅裏の我が家での生活を思い出してノスタルジーに浸りたくなくなってしまうかもしれません。



ちなみに、父は踏ん切りがつかず、買い戻したオーディオと残りのレコードを、別の買い取り業者に引き取ってもらったそうです。

【執筆者紹介】

松本 浩 (まつもと ひろし)
太平電業株式会社 東京支店
執行役員 支店長



計装士会会員 各位

2022年「オンライン勉強会」のご案内

会員の皆様には、日頃より当会活動にご協力を賜り誠にありがとうございます。

既に2年半に及び新型コロナ感染収束の目途の立たない中、皆様におかれましては、元気にお過ごしのことと思います。

平時であれば、会報発刊、またはホームページにも各地区の活動として様々な活動報告をお届けしておりますが、残念なことに未だ活動できない状況にあります。

そこで、このたび運営幹事の方々やメディア関係の方々のご協力も頂きながら、2022年「オンライン勉強会」を下記の通り計画をしております。

[計装士会ホームページ]

- ・ 視聴ご案内 : 8月16日～
- ・ 申込みご案内 : 8月29日～9月9日
- ・ 配信予定 : 9月26日～9月30日

会員の皆様、奮ってお申し込みください。

講義内容

- ・ 光ファイバー心線の融着接続。
- ・ OTDR (光パルス試験機) 光ファイバー心線の曲がりと伝送損失。

計装士会 事務局

Kinden

チーム、きんでん。

(施工力+技術力+現場力)×情熱



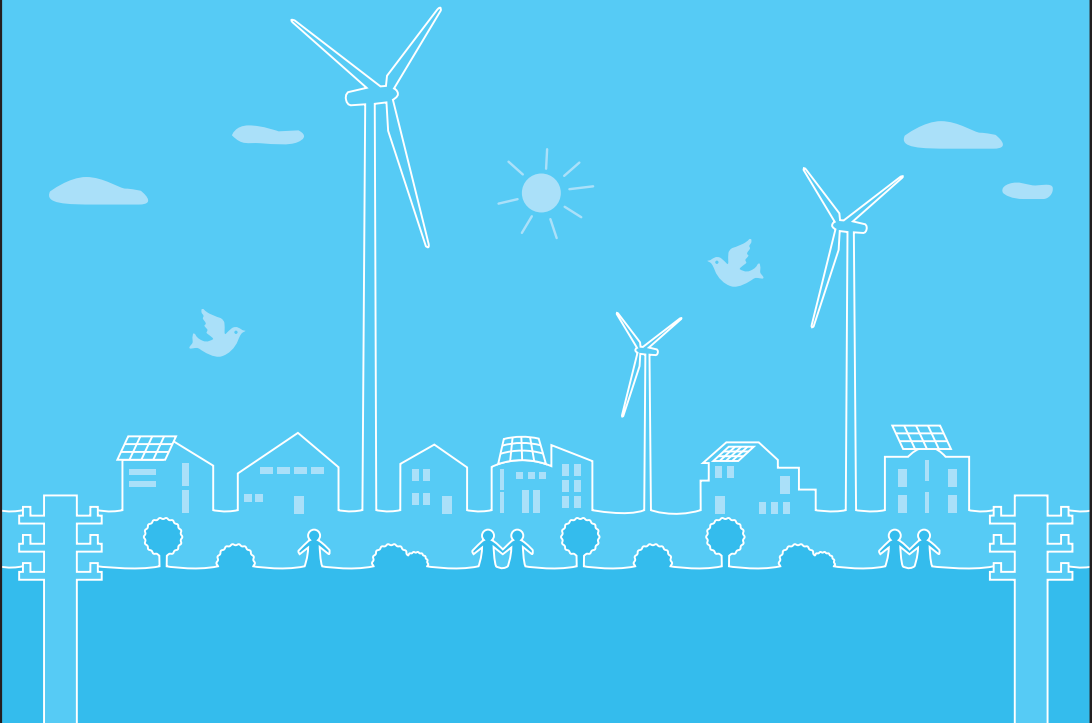
“お客さま満足”
という目標に向かって、
さまざまなスタッフが力を結集。
人間力を基盤とした
総合エンジニアリング力で、
あらゆるソリューションに
お応えします。

エネルギー 電気 衛生 情報
情報通信 計装 環境 内装 その他
空調 土木

きんでん

本店 大阪市北区本庄東2丁目3番41号 東京本社 東京都千代田区九段南2丁目1番21号
TEL.06-6375-6000 TEL.03-5210-7272
<https://www.kinden.co.jp/>

地 域 と つ な が り、
未 来 へ つ な げ る。



総合設備エンジニアリング企業

Yurtec

株式会社 ユアテック

<http://www.yurtec.co.jp/>

本 社／仙台市宮城野区榴岡4丁目1-1 〒983-8622 TEL.022-296-2111
東京本部／東京都千代田区大手町2丁目2-1 〒100-0004 TEL.03-3243-7111
支 社／青森・岩手・秋田・宮城・山形・福島・新潟・北海道・東京・横浜・大阪

※ユアテックは「ユアテックスタジアム仙台」のネーミングライツスポンサーです。

CS 2022年度安全衛生標語

何気ない
動作に潜む不安全
気付く心で無災害

労働安全衛生基本方針

千代田システムテクノロジーズ株式会社は、経営理念、ビジョン、ミッションに基づく、労働安全衛生マネジメントシステムを構築し、その運用及び継続的改善を通して、労働災害の防止と疾病の予防に努め安全文化の醸成を図り、持続可能な社会の発展に貢献する。

1. 労働安全衛生マネジメントシステムを活用して安全施工サイクルを確立し、危険を予知して「危ない作業は絶対しない・させない」の実践定着を図る。
2. リスクアセスメントを活用して危険有害要因を特定し、リスクの低減及び排除活動を展開しより安全な職場を確立する。
3. 効果的なコミュニケーションを図り、心身の健康づくりと作業環境の整備・改善により活力ある明るい職場をつくる。



千代田システムテクノロジーズ株式会社
CHIYODA SYSTEM TECHNOLOGIES CORPORATION

令和4年度 計装士会賛助会員会社名簿

令和4年7月1日現在
(五十音順) 43社

アイビーテクノス (株)	第一工業 (株)
旭国際テクネイオン (株)	ダイダン (株)
アズビル (株) ビルシステムカンパニー	太平電業 (株)
(株) オーテック	高砂熱学工業 (株)
(株) 川瀬電機工業所	(株) 中部プラントサービス
(株) 関電工	千代田システムテクノロジーズ (株)
(株) 木内計測	(株) トーエネック
(株) 九電工	(株) 東京エネシス
(株) きんでん	東光電気工事 (株)
栗原工業 (株)	東芝プラントシステム (株)
(株) クリハラント	東テク (株)
向陽電気工業 (株)	東邦電気工業 (株)
三機工業 (株)	東洋熱工業 (株)
(株) 三興	日鉄テックスエンジ (株)
(株) サンテック	日本電技 (株)
J-POWERジェネレーションサービス (株)	日本電設工業 (株)
四国計測工業 (株)	(株) 日立プラントサービス
昭和アステック (株)	富士古河E&C (株)
(株) 昭和電業社	豊楽興産 (株)
ジョンソンコントロールズ (株)	(株) ユアテック
須賀工業 (株)	横河ソリューションサービス (株)
住友電設 (株)	

令和4年度 計装士会幹事名簿

令和4年7月19日現在

(運営幹事)

代表幹事	大脇 剛	(株)三興 SKGRコーポレート本部 技術企画・教育センター センター長
副代表幹事	笹生 健司	(株)きんでん 情報通信本部 情報通信技術部 技監
企画・研修委員(長)	島崎 真	ダイダン(株) 東京本社 設計部 設計第一課 担当部長
企画・研修委員	稲生 充	太平電業(株) 工事本部 火力管理部 電装課 課長
企画・研修委員	吉川 弘信	高砂熱学工業(株) 東京本店 計装技術部 設計課 担当課長
企画・研修委員	吉野 賢治	東光電気工事(株) 首都圏東支社 内線第二部 内線第一課 課長
広報委員(長)	阿部 達也	ジョンソンコントロールズ(株) 購買部 OPS購買Gr パネル調達マネージャー
広報委員	堀口 英明	(株)関電工 営業統轄本部 安全・環境部 部長
広報委員(兼務HP)	藤森 一	アズビル(株)ビルシステムカンパニー 技術本部技術企画部 担当部長
ホームページ委員(長)	藤森 一	アズビル(株)ビルシステムカンパニー 技術本部技術企画部 担当部長
会計・庶務	日下 滋	千代田システムテクノロジーズ(株) 第1事業本部 特命担当
監査	別府 明敏	旭国際テクネイオン(株) 中国事業所 技術本部
監査	大淵 学	(株)オーテック 環境システム事業部 技術統括部 参事役

(地区幹事)

東北・北海道地区代表	鈴木 和彦	(株)ユアテック 営業本部 電気設備部 部長兼 プラントグループリーダー
同上業務連絡先	松木 哲郎	(株)ユアテック 営業本部 電気設備部 プラントグループ 副長
東北・北海道地区	西川 博康	東芝プラントシステム(株) 東北支社 技術グループ 参事
東北・北海道地区	川崎 久	三機工業(株) 東北支店 建築設備部 部長
中部・北陸地区代表	森本 将之	(株)トーエネック 営業本部 営業部 技術提案グループ 課長
中部・北陸地区	渡辺 淳司	(株)中部プラントサービス 工事本部 工事総括部マネージャー
中部・北陸地区	小池 敏明	アズビル(株)中部支社 中部サービス部
近畿地区代表	石山 輝英	(株)きんでん 技術本部 プラント工事部 課長
近畿地区	大久保精之	住友電設(株) 技術本部 技術開発室 主席
近畿地区	秋月 成夫	ダイダン(株) 大阪本社 技術管理部 品質課 参与
中国地区代表	本坊 和樹	(株)中電工 技術企画部 工場工事担当課長
同上業務連絡先	土井長昭義	(株)中電工 技術企画部 工場工事担当専任課長
中国地区	濱本 和信	中電プラント(株) 火力部 課長(火力担当長)
中国地区	副島 勉	高砂熱学工業(株) 技術部技術生産課 課長
中国地区	末田 仁彦	アズビル(株)ビルシステムカンパニー 中四国支店技術部1グループ マネージャー
四国地区代表	田村 隆之	四国計測工業(株) エネルギー・環境事業本部 電気計装部 管理課 管理課長
四国地区	谷本 信人	(株)四電工 システム技術部 副部長
九州・沖縄地区代表	今吉 俊博	(株)九電工 技術本部 電気技術部 プラントグループ副長
九州・沖縄地区	松原 正義	高砂熱学工業(株) 九州支店 営業部 設計課 課長
九州・沖縄地区	山路 鉄次	アズビル(株) 九州支店 サービス本部 九州サービス部 安全マイスター

入会資格と入会・退会等手続きについて

計装士会 事務局

1. 入会資格

計装士会会則の第5条（抜粋）より本会会員は次の者とします。

- (1) 正会員 一般社団法人日本計装工業会が実施する計装士資格試験に合格し、1級・2級計装士の資格を有する者
- (2) 賛助会員 本会の目的に賛同し、本会の事業を賛助する個人または法人

2. 年会費・入会手続き

- (1) 年会費 ・正会員：3,000円/年（入会金なし）、振込手数料は会員負担
・賛助会員：会費は別規定（確認は事務局まで）
- (2) 入会 ・正会員：当会指定用紙「入会申込み書・住所等変更届はがき」（用紙は事務局まで）
・賛助会員：別途指定用紙による申込み（用紙は事務局まで）
- (3) 会費納入 ・正会員：「払込取扱票」（郵便局）による（用紙は事務局まで）
口座番号 00150-3-356308
加入者名 計装士会
・賛助会員：別途銀行指定用紙による（用紙は事務局まで）

3. 住所変更等手続き

当会指定はがき：正会員は原則として「入会申込み書・住所等変更届はがき」に必要事項を記入し提出のこと。場合によりFAXでも可。

4. 退会手続き

当会を退会希望する場合は、必ず退会の届出・連絡が必要となります。下記の要領により事務局まで退会届を提出して下さい。

(1) 退会届提出要領

- ① 当会指定の「入会申込み書・住所等変更届はがき」の右上空欄に退会届と明記して提出する。
- ② 当会指定の「届はがき」が手元にない場合は、必ず事務局までFAXか電話で退会の連絡を願います。
- ③ 会員本人が死亡などの場合は、事務局が連絡を受けた時点において受付・処理します。

(2) 年会費納入義務

退会の場合は、必ず退会当該年度までの年会費納入を義務とし、当該年度末（3月31日）退会を原則とします。ただし、会員本人が死亡などの場合は、事務局が連絡を受けた時点までの納入会費で終了とします。

計装士会ホームページのお知らせ

付記：ホームページパスワード変更

追加：正会員のEメールアドレス登録について

計装士会 ホームページ分科会
事務局

計装士会ホームページURLは下記のとおりです。

URL <http://www.keisoshikai.gr.jp/>

会員の皆様へのより早い情報の提供と対応、更に内容の充実を図って参りますので、多くの皆様方の活用とご意見をお聞かせ下さるようお願いいたします。

- 内 容：1. 計装士会事業活動状況・報告
2. 会員コミュニケーション
3. 研修会・見学会・勉強会の技術情報、その他
4. 会員事務手続きおよび問合せ
5. 各種案内（研修会・見学会・勉強会参加案内、その他）

お願い：計装士会は一般社団法人日本計装工業会とは別団体、別組織の運営・活動となっております。各種の問合せは等は間違いのないようご注意ください。

ホームページ技術資料公開のパスワード変更（会員専用）

新パスワード：keisoshikai22

実 施 日：令和4年4月より実施

<お願い>

平成22年10月より、会員の皆さんへ各種情報・お知らせ等を発信できるようになりました。下記のいずれかの方法で、皆さんのメールアドレスをお知らせ下さい。

- ①当会より定期的に送付される「払込取扱票」の通信欄のE-mail：の項に記入の上、会費振込時にお知らせ下さい。
- ②または、FAXにてお知らせください。（FAX：03-5846-9166）

【投稿募集】皆さんの投稿でより充実した会報に！

広報委員会

過去の通常総会において承認されました本年度の活動方針に「会報並びに各種技術情報の提供」が盛り込まれています。会員のための会報を提供するためには、より多くの会員の皆さんに参画していただき、連携して会報を作っていくことが重要です。

つきましては、下記のテーマで会員に役立つと思われる内容の記事（関連の写真があれば添付）を投稿いただきますようお願い申し上げます。

<テーマ>

1. 技術情報
日常業務の中で体験，調査・検討された作業改善，トラブル事例とその応用・改善等（現場作業での事例を特に歓迎します）
2. 身近な情報
珍しい話題，行事
3. 海外での特異な体験
4. その他
多くの会員に役立ち，参考になるとと思われる情報
5. デジカメデータまたは写真（JPG.）
撮影年月日，撮影対象，写真提供者名を明記
記事または表紙写真を採用の場合には，薄謝を進呈します。

<原稿送付先>

〒101-0031
東京都千代田区東神田2丁目4-5 東神田堀商ビル 4階
一般社団法人日本計装工業会内
計装士会
Tel. 03-5846-9167 Fax. 03-5846-9166

なお、E-mailで送付される場合には、計装士会事務局まで、上記のTelにてご相談ください。当会メールアドレスをお知らせします。

計装士会事務局御中 変更届 (下記の該当□にレ点を付けてください)

住所変更届 その他変更届 退会届

計装士登録番号 _____ --- _____

御^ふ氏^り名^{がな} _____

御住所 〒 _____

連絡先電話番号 _____

E-mail : _____

会社名 _____

部署名 _____

御住所 〒 _____

会社連絡先電話 _____

通信欄 _____



広報委員会

委員長	阿部	達也	ジョンソンコントロールズ(株)
委員	堀口	英明	(株)関電工
委員	藤森	一	アズビル(株)

事務局	片山	洋志	計装士会	事務局
-----	----	----	------	-----

ぼくは、
計装士会
マスコットの
インスです。
大きな耳で
情報を集め、
みなさんに技術・
知識に関する情報を
提供できたらと
頑張っています。



計装士会の活動

- 技術向上へ向けた研修会・見学会・懇話会を全国で開催
- 会報・ホームページによる各種技術資料・情報を提供
- 社会的地位向上への活動

計装士会

〒101-0031 東京都千代田区東神田2丁目4-5 東神田堀商ビル4階
一般社団法人日本計装工業会内
Tel. 03-5846-9167 Fax. 03-5846-9166
URL <http://www.keisoshikai.gr.jp/>